

12 爆発

【関連章第 4 章 4】

事例 「スプレー缶が破裂したことで可燃性ガスが引火し爆発した火災」

出火時分 5 月 11 時ごろ

用 途 等 住宅（長屋） 防火造 2/0 延 100 m²

被害状況 建物ぼや 1 棟 給湯器 1 台焼損

概 要

この火災は、住宅の 1 階居室から出火したものです。

出火原因は、使用中のガスファンヒータ前に置かれていたスプレー缶（殺虫剤）がヒータの温風に熱せられたため、スプレー缶が破裂し内部の可燃性ガスがファンヒータのバーナの炎で引火し、爆発したものです。

居住者は、自宅内で食事の片づけをしていた際に「バンッ」という爆発音がしたため外に出たところ、プラスチックが燃えたような臭気と建物の窓ガラスが割れているのを発見したため、火災だと思い自身の携帯電話で 119 番通報をしています。

教 訓 等

この火災は、使用中のガスファンヒータ前にスプレー缶を置いたことにより発生しています。

スプレー缶の噴射剤には、液化石油ガス（LPG）が使用されているものがあります。スプレー缶が加熱されると、内部の液化石油ガスが膨張するため、内圧が高まった容器が破裂し周囲の火種により引火、爆発することがあります。

スプレー缶の保管は、夏場は直射日光のあたらない冷暗所に置き、冬場は暖房機器の前には絶対に置かないようにし、説明書を良く確認し使用しましょう。



写真 12-1 爆発による窓ガラス等の破損状況



写真 12-2 破裂したスプレー缶の状況